

病理画像管理システム INFINITT DPS のご提案

Introduction of INFINITT Digital Pathology Solution (INFINITT DPS)

橋爪 稔 (Minoru Hashizume / Sales Manager)

株式会社インフィニットテクノロジー (INFINITT JAPAN Co.,Ltd.)

=抄録=

株式会社インフィニットテクノロジーは韓国ソウルに本社を置きグローバルに展開する INFINITT Healthcare Co., Ltd.の日本法人として設立後 20 年余にわたり放射線科 PACS を中心に様々な検査データ・医用画像等を管理するシステムを提供する企業である。

インフィニットテクノロジーでは近年課題となっている病理部門のデジタル化に伴うスライド標本 WSI データ等の管理において、これまで培ってきた PACS ベンダーとしてのノウハウを基に国際標準規格である DICOMを用いた病理画像管理システム INFINITT DPS の開発を行った。標本画像のデジタル化に DICOM を用いることで一つのデータとしての利便性が向上し、さまざまな場面で WSI 画像のさらなる活用が推進されるものと思われる。

本発表では、併せて病理部門のデジタル化を進める上で見えてきた課題・要望に対応し、医療価値の高い病理情報を病理部門のみならず、臨床医学においても活用できるソリューションとして INFINITT DPS の特長を紹介する。